

# 令和2年度から令和4年度事業対象者の 抽出年度と次年度健診データにおける HbA1cの比較

令和7年7月





# 平塚市糖尿病性腎症重症化予防事業とは

## 事業の目的

- かかりつけ医の通院を継続し、糖尿病または腎臓病専門とする協力専門医療機関の医師による診察や管理栄養士による食事指導を行うことで腎機能を維持を目的としている。

## 対象者の条件

- 平塚市国民健康保険、後期高齢者医療制度の被保険者で、現年度の特定健康診査、後期高齢者健康診査の結果から右の図の基準に該当する方を抽出し、医師2~3名で過去の健診結果の推移等を踏まえて対象者を決定する。

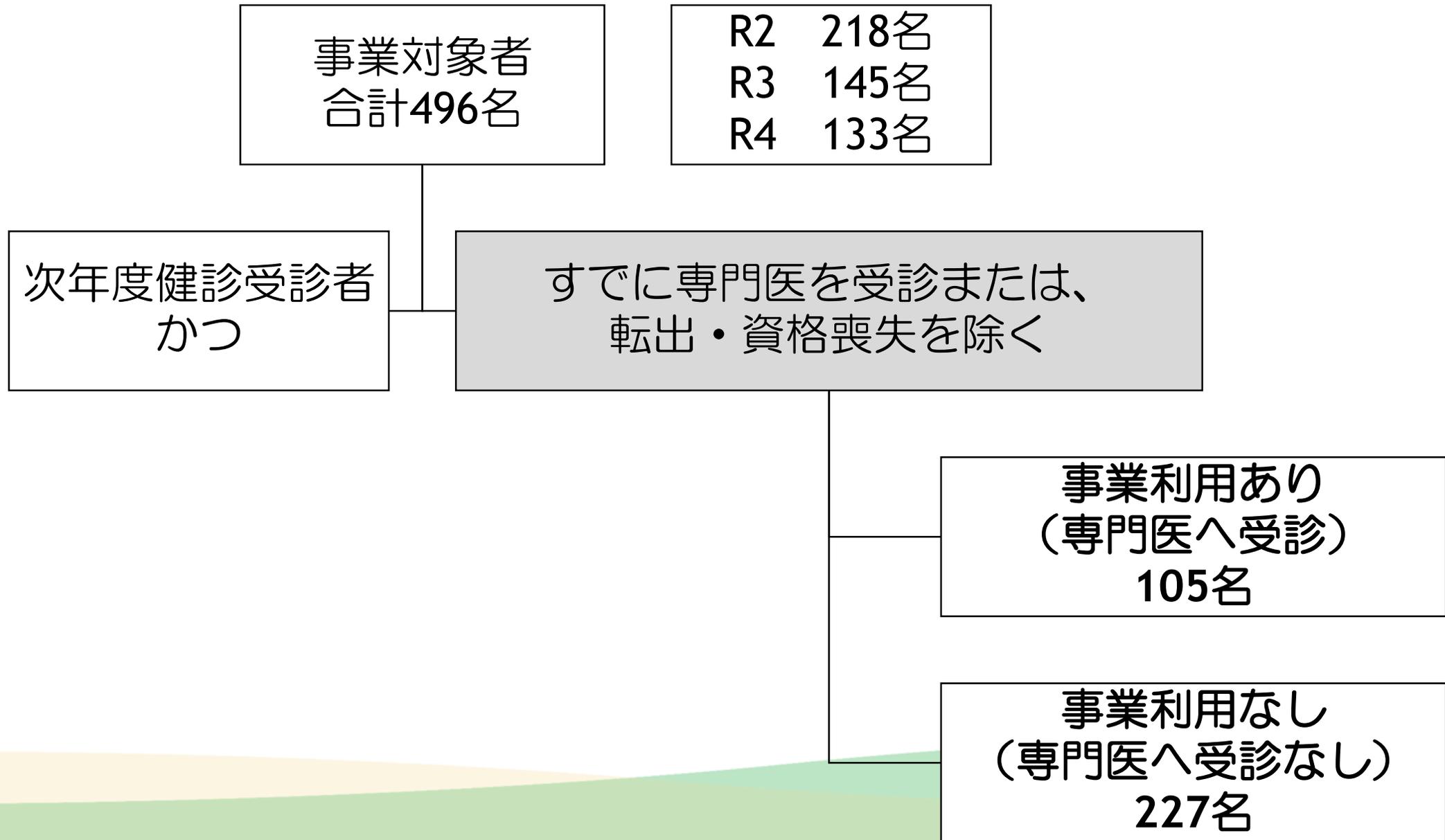
健診の種類	年齢	HbA1c
こくほ 特定健康診査	40歳~74歳	6.5%以上
後期高齢者 健康診査	年度末年齢80歳以下	7.0%以上 ※

※令和2年度対象者の抽出基準は後期高齢者健康診査はHbA1c6.5%で抽出しています

		A 1	A 2	A 3
	eGFR / 尿蛋白	—	±	+以上
G1	90以上			腎機能 中等度低下群
G2	60~90未満			
G3a	45~60未満	腎機能 重度低下群		
G3b	30~45未満			
G4	15~30未満			
G5	15未満			



# 令和2年度から令和4年度事業対象者について



# HbA1cの変化 事業利用あり(専門医へ受診)

## 事業利用あり

翌年の健診結果(人)		当該年度健診結果(人)				
		6.4%以下	6.5~6.9%	7~7.4%	7.5~7.9%	8%以上
当該年度健診結果(人)		41	38	14	5	7
6.5~6.9%	44	23	16	5	0	0
		(改善52%)	(変化なし36%)	(悪化11%)		
7~7.4%	26	9	12	4	1	0
		(改善81%)		(変化なし15%)	(悪化4%)	
7.5~7.9%	20	6	7	2	2	3
		(改善75%)			(変化なし10%)	(悪化15%)
8%以上	15	3	3	3	2	4
		(改善73%)				(変化なし27%)

利用あり	人	割合
改善	70	66.7%
変化なし	26	24.8%
悪化	9	8.6%
合計	105	100.0%
備考		
当該年度HbA1cの平均(%)		7.3
次年度HbA1cの平均(%)		6.7

# HbA1cの変化 事業利用なし(専門医への受診なし)

事業利用なし

翌年の健診結果(人)		当該年度健診結果(人)				
		6.4%以下	6.5~6.9%	7~7.4%	7.5~7.9%	8%以上
6.5~6.9%	93	39 (改善42%)	30 (変化なし32%)	16 (悪化26%)	2	6
7~7.4%	73	18 (改善51%)	19 (変化なし25%)	18	8 (悪化25%)	10
7.5~7.9%	29	4 (改善69%)	8	8	6 (変化なし21%)	3 (悪化10%)
8%以上	32	2 (改善53%)	3	9	3	15 (変化なし47%)

利用なし	人	割合
改善	113	49.8%
変化なし	69	30.4%
悪化	45	19.8%
合計	227	100.0%
備考		
当該年度HbA1cの平均(%)	7.3	
次年度HbA1cの平均(%)	7	

# 結果

- HbA1cにおいて「事業利用ありの方（専門医へ受診）」の改善割合は「事業利用なしの方（専門医へ受診なし）」の改善割合と比べて高く、悪化割合は低いことが分かりました。「事業利用ありの方（専門医へ受診）」の次年度健診結果におけるHbA1cの平均は1%改善がみられました。
- 本事業を利用することでHbA1cの改善が期待できることが分かりました。
- 平塚市から「腎機能を維持するための協力専門医療機関での栄養相談の勧め」のお手紙が届いた際にはぜひ積極的な利用について、かかりつけ医へ御相談をお願いします。